



やの しょうぞう 矢野 昭三 議員

公約の成果

2期8年どのように集約か 一定の責任果たした

問「世代をつなぎ再起動」就任以来大変な地震、津波想定、一人の犠牲者も出さないうために汗をかき、その成果は目に見える。

また、昨年は、町長が先頭に立ち、地域福祉計画を策定。本年3月に高齢者福祉計画を策定した。これらを踏まえ、どのように集約しているか。

答 大西町長

総合戦略並びに計画体系を見直し、現在策定中の4つの計画がある。農業計画は達成見込みだが、水産業は残念ながら及第点は頂けない。林業雇用の拡大と経営安定のための施策は不十分。

二次産業の縫製業、建設業においては、労働環境の改善に積極的な関与が必要だ。三次産業の小規模商店等は大変厳しく新たな政策展開が必要だ。福祉部門では、地域福祉計画に位置付けた課題解決に向け、あつたかふれあいセンター整備等を促進する。財政運営では、基金残高は25億600万円、将来の住民サービス、政策の選択に可能性を残している。

町の振興

人口6800人の住環境は期待に沿う努力をする

問

人口維持の手段として住宅使用料の見直しも必要では。

答 大西町長

若者住宅施策として家賃の見直しも含めて条例整理を行っている。



若者住宅（拳ノ川）

問

保育所、学校の送迎車を確保し保護者等の不安を解消すべきでは。

答 畦地教育次長

佐賀保育所の移転に伴う運行については、保護者の要望にお応えできる

よう体制整備を図っている。



高台移転した佐賀保育所（伊与喜）

問

地域医療を充実するため診療所に常勤の医師が必要では。

答 大西町長

医師住宅に居住、訪問診療、夜間診療の3条件を了承する医師は見つかっていない。

問

在宅での生活を推進するために介護職員を確保すべきでは。

答 大西町長

各事業所間で情報の共有を図り体制整備に向けて協議を始めた。適切な介護サービスが提供できるよう努める。

水産振興

イワシ活餌事業に支援を力をこめ努力する

問

イワシ活餌事業は、切れ目なく事業の展開を図れ。

答 大西町長

活餌協議会、カツオ一本釣り漁業者と連絡を取り合い事業実施する。

透明性

事業評価結果の公表を分析調査し公表する

問

町政策の事務事業を評価しているのであれば公表すべきでは。

答 大西町長

分析調査等を行い、いろいろな面について公表していきたい。



イワシ活餌事業の作業中、元気のよいのが売り